

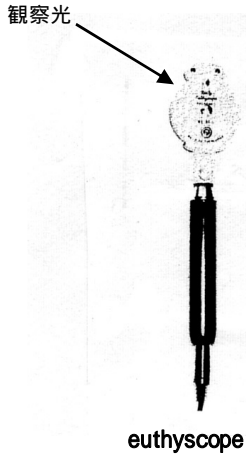
固視状態の検査 直接観察法 (Euthyscope による方法)



目的

中心窩の残像の見え方による固視状態の把握

準備物 Euthyscope・十字の固視目標



通常健眼から始め他眼を手で隠し、通常**緑(青)色フィルター**を通して直像鏡と同様に検査者は検査眼と同じ左右眼で眼底をのぞく

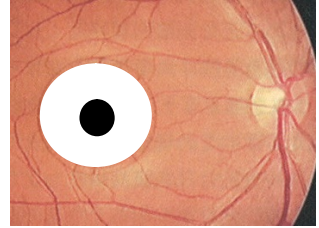


健眼で上手に検査できない場合、信頼性は低い。検査は無散瞳でOKだが散瞳した方が正確にできる。被検者に前もって見える視標を理解させておくこと。

euthyscope の視標の黒点を他動的に中心窩にあて、照射して**ドーナツ状の残像**を被検者の眼底に作る



当学校の機種は黒点は4°と2°の大きさがある。



視能学 P436 視標を変更

光量を上げるか、被検者にしばらく**視標**を固視させ、確実な残像を作る

十字の固視目標を遠方におき、照射した片眼で十字の真中を見るように命じる

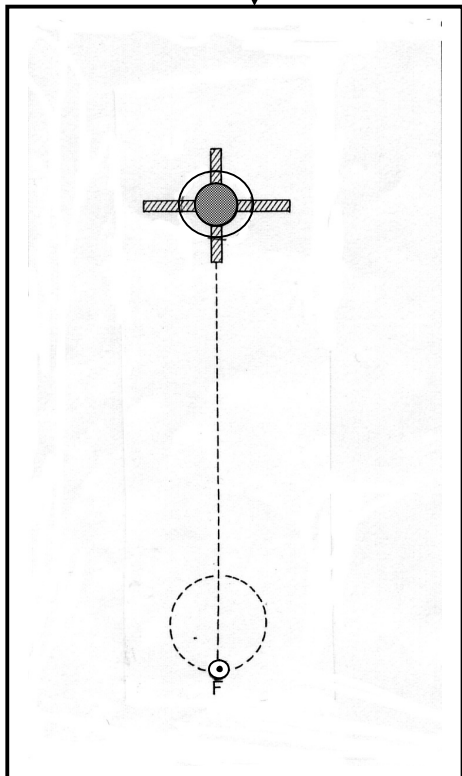


視能矯正マニュアル P200 には遠方と記載されているが、近方にする方が残像が十字に入るのがよく判る。

YES

十字の中心と**ドーナツ状の残像**の中心がずれていないか？

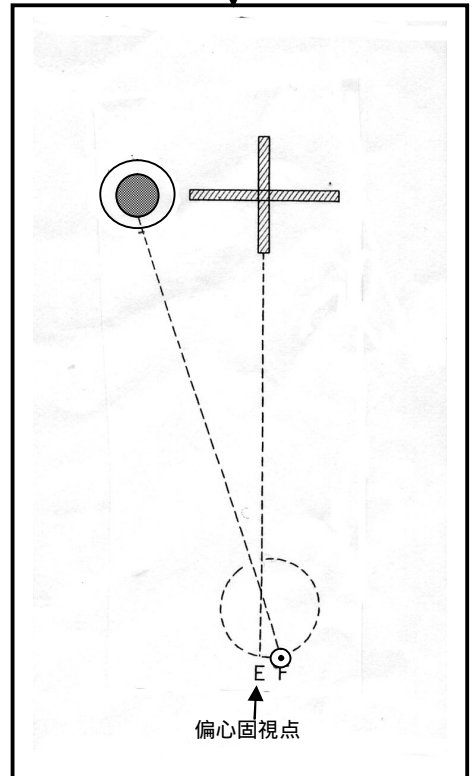
NO



明室の方が判り易い。中央が白く見えるよ。



図) 視能矯正マニュアル P201 に加筆



偏心固視点

中心固視

ただし、視標の黒円が大きい為、正確ではない。

偏心固視

